

9番 早川ケン子です。

町では、介護予防に効果のあるいきいき百歳体操の取り組みを進めており、私も参加しております。参加するたびに押しもらえる健幸アップポイントカードが好評で、皆さん隣と見せ合いながら楽しそうに話しております。実際、体操することにより体が楽になります。いつまでも元気で長生きすることは、高齢者共通の望みであります。

そこで、お忙しいとは思いますが、保健師さん、栄養士さん、折をみて地域に入っていただきたいと思います。地域のお店が少なくなり、食事のことや普段の生活の中での困りごとを、高齢者や住民の方が、相談したりお話をお聞きしたいことがあると思います。今年度における、保健師・栄養士の地域での活動状況、訪問指導等の実績をお示しいただいたうえで、その可能性について、見解をお伺いします。

去る11月22日に、社会福祉協議会主催の令和4年度地域福祉座談会が小川地区であり参加しました。役場職員の方も参加

されてきました。次期地域福祉計画の策定にあたり実施したアンケート調査結果の報告を参考としながら議論されました。寒さに向かうこの時期、不安はつづきます。

物価高騰に対する経済的支援につきましては、補正予算等で対策いただいておりますが、高齢者等の雪かき、燃料の運搬など冬期間は転倒の事故が心配となります。除雪バスターなどのボランティア活動や見守り活動が重要と考えます。町として、このような活動をする団体への助成や養成を行っているのかお伺いします。

また、どんぐり苑の冬季居住部門の利用状況について、募集人数に対して申込みはどの位あったのかお知らせ願います。さらに、電話等での緊急通報装置による見守りは、どれ位利用されているのか、併せてお伺いします。

安家地区でのデマンドタクシーの実証実験は有意義であり、安家地区で先行的に取り組みが始まり、本当に良かったと思います。そこで、他の地区への導入については、どのように進ん

でいるのかお伺いします。

また、小川地区は運送業者さんがいることから難しい面もあると思いますが、小川地区において、高齢者・交通弱者への交通対策として、検討しているもの・考えられるものがありましたら、その可能性と併せてお示しくください。

高齢者・交通弱者に対する対策は、何かと大変かと思いますが、地域との連携もふまえて協議を重ねていただき、安全で安心な交通体系を仕上げていただくよう、切望して本席からの質問を終わります。

9番 早川 ケン子 議員の御質問にお答えします。

初めに、保健師、栄養士の地域での活動状況等についてありますが、本年度10月までの地域活動状況は、認知症カフェ12回、百歳体操など地域活動のフォロー17回、介護予防教室24回、認知症サポーター養成講座3回となっております。

また、要支援1・2の方への訪問は665回、それ以外の高齢者の方々への訪問対応は248回、延べ969回となっております。

現在は、町だけではなく多様な実施主体による活動も増えておりますので、地域活動の中で心配される高齢者の情報や、町民の困りごとの相談などについて、保健師、栄養士と、それぞれの関係機関が連携して地域に入る、重層的な支援にも取り組んでいるところであります。

今後におきましても、高齢者や住民の方々安心して生活できるよう、町と関係機関が連携し、役割分担をしながら

ら保健活動を充実してまいりたいと考えております。

次に、ボランティア活動や見守り活動を行う団体への助成や養成であります。町では、地域課題の解決のため、高齢者へのサービスや、見守り支援等の地域支え合い活動を行う団体に対し、活動費の助成を行ってまいりましたが、活動団体の規模の拡充までには至っていない現状もありますので、ボランティア団体など関係機関とも情報交換を行い、課題や方向性について調査研究してまいりたいと考えております。

また、どんぐり苑の冬季居住部門の利用状況であります。本年度は10人の募集に対して10人の方から申し込みをいただいております。

緊急通報装置につきましては、ひとり暮らしの要援護高齢者の方に機器を貸与しておりますが、本年10月末時点で51の方が利用しており、有効的に機能しているものと考えております。

今後におきましても、高齢者の方々の安全安心に寄与す

る事業と認識しておりますので、時機を捉え、機器更新を行うなど、引き続き事業の推進に努めてまいります。

次に、交通対策についてであります。安家地区のデマンドタクシーの実証実験は、昨年度から継続実施しておりますが、昨年度は10月1日から実施し、2週間で6人が利用し、延べで14回の運行実績となっております。

本年度は、9月1日から来年3月31日まで実施予定であり、現在まで53人が利用し、延べ40回の運行と、徐々にではありますが、地域住民に浸透してきているものと認識しているところであります。

今後の他地区への導入につきましては、利用者や交通事業者などと意見交換を行い、実証実験の効果検証や改善を加えた上で、検討してまいりたいと考えております。

次に、小川地区を含め、高齢者・交通弱者への交通対策といたしましては、デマンドタクシーのほかに、地域コミュニティ単位で車を共同利用する「コミュニティ・カーシェアリング」について研究を行っており、本年10月に、宮

城県石巻市において、町職員と地域の方々などが合同で視察研修を行ってまいりましたので、今後、導入に対する具体的な支援について検討してまいりたいと考えております。

以上で答弁を終わります。